

年2回(1月・7月)発行

シルバー
連合会

いしかわ

第49号

令和5年1月発行



加能ガニ「輝」(左上)・香箱ガニ「輝姫」(右上)・天然能登寒ぶり「煌」(下)
写真提供: 石川県漁業協同組合

目次

シルバー連合会いしかわ 2023. 1 第49号

年頭のご挨拶

会 長 林 充 男	1
石川県知事 馳 浩	2
石川労働局長 長 嶋 政 弘	2

令和4年度の主要事業（令和4年8月～12月実施分）

労働者派遣業務担当者会議	3
石川労働局等への要請	3
4 専門委員会	3・4
普及啓発促進月間活動	4
親睦グラウンド・ゴルフ大会	4
運転技能講習	5
第2回県内各センター事務局長会議及び安全対策協議会	5
安全パトロール	6
第2回理事会	6
理事長会議	6
高齢者活躍人材確保育成事業（国の委託事業）	7・8
センター支援事業（連合会の独自事業）	8
衛生委員会 掲示板	9
県内の各シルバー人材センターの活動	10～15

表紙写真の説明

加能ガニ「輝」・香箱ガニ「輝姫」・天然能登寒ぶり「煌」

加能ガニ「輝（かがやき）」は、石川県産ズワイガニ（オス）の最上級ブランド。その認定基準は極めて厳しく、重量1.5kg以上、体に傷がなく全ての脚が揃う、色が美しい、身入りが良いなどに加えて、漁業者による鮮度の徹底、資源管理への積極的な取り組みも求められる。「輝」ブランドがスタートした2021年に認定されたのはわずか9匹。初競りでは500万円の値がつけられた。香箱ガニ「輝姫（かがやきひめ）」は、2022年から設けられた石川県産ズワイガニ（メス）の最上級ブランド。人気が高い石川県の香箱ガニの中でも、甲幅9.5cm以上、かつ「輝」と同じく体に傷や欠けがない、色が美しい、身入りが良い、資源管理への積極的な取り組みが認定基準として設定されている。

天然能登寒ぶり「煌（きらめき）」は、2022年に設けられた石川県産天然能登寒ぶりの最上級ブランド。「煌」の認定には厳格な基準が定められ、12月～翌年1月の2か月間に石川県内の定置網で水揚げされる天然能登寒ぶりのうち、重量14kg以上、魚体に傷がない、身が引き締まり脂が乗っていることを物語る胴回りが十分で、かつ鮮度を保ち旨味を引き出す活締め・氷締めが船上で行われていることなどが求められる。また漁業者が資源管理に積極的に取り組んでいることが求められる。魚そのもののみならず人の技術や資源管理への姿勢も問われるという点において、全国的にも極めて厳しい認定基準であると言える。

（石川県漁業協同組合ホームページより抜粋）



年頭のご挨拶

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会
会長 林 充 男

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、当連合会の運営及び諸活動につきまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和2年1月に初めて国内で確認された新型コロナウイルス感染症は、シルバー人材センター事業へ多大な影響を及ぼしておりますが、各シルバー人材センターの適切な対応とご努力により、事業の回復や伸長が見られていることは、喜ばしいことであります。新型コロナは、いまだ収束を見ておりませんが、各センターにおかれましては、今後も感染防止に努め、会員、役職員の安心・安全を確保しながら、事業の推進と運営に取り組みれることと存じます。

一方、本年は、10月から導入される消費税のインボイス制度（適格請求書等保存方式）の問題があります。地域社会において重要な存在であるシルバー人材センターの存続に関わる課題であり、各センターは対応に腐心されておられることと存じます。

当連合会では、昨年は、新型コロナの影響により中止、縮小、変更等を行った事業もありましたが、引き続きシルバー人材センター事業の周知・広報に努めたほか、新たな就業先の開拓、会員の事故防止をはじめとする安全就業の確保のための対策、また、インボイス制度導入への対応のための情報提供等に取り組んだところです。

本年も、シルバー会員の社会参加及び充実した生活とともに、シルバー人材センターが地域社会に更なる貢献ができるよう、減少傾向にある会員の増強や、受注・就業機会の開拓、安全で適正な就業の推進、事業運営基盤の強化など、地域のシルバー人材センターを支援するとともに、行政や関係機関等との連携を図りながら、積極的に事業運営を進めてまいります。

最後になりましたが、関係機関の皆様には倍旧のご指導、ご支援を賜りますよう、併せて会員皆様のご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

謹 賀 新 年

会 長	林	充	男	公益社団法人金沢市シルバー人材センター理事長
副 会 長	竹 田	由 喜	夫	公益社団法人白山市シルバー人材センター理事長
副 会 長	藤 谷	勝	好	公益社団法人七尾市シルバー人材センター理事長
理 事	紺	重	男	公益社団法人かほく市シルバー人材センター理事長
理 事	南	忠	治	公益社団法人能美市シルバー人材センター理事長
理 事	宮 崎	幸	護	公益社団法人加賀市シルバー人材センター理事長
理 事	越 田	由 紀	夫	公益社団法人小松市シルバー人材センター理事長
理 事	中 山	善	紀	公益社団法人輪島市シルバー人材センター理事長
監 事	村 田	善	紀	公益社団法人津幡町シルバー人材センター理事長
監 事	浅 野		昇	公益社団法人野々市市シルバー人材センター理事長
理 事	増 田		勉	公益社団法人石川県シルバー人材センター連合会事務局長
	職 員	一	同	

年頭のご挨拶



石川県知事
馳 浩

成長する産業づくりに向けて

明けましておめでとうございます。令和5年の新春を迎え、皆様には、謹んでお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

昨年は、長引くコロナ禍に加え、能登地方における一連の地震活動や8月の豪雨、ウクライナなどの国際情勢を背景とした原油・原材料価格の高騰など、様々な課題に直面し、県として県民の命と生活を守るため、最善を尽くしてまいりました。

本年も引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の正常化の両立を図っていくとともに、国や市町、関係機関と協力しながら、災害からの一日も早い復旧に向けて全力で取り組むほか、資金繰り支援など物価高騰の影響を受ける事業者をサポートするなど、あらゆる対策を講じてまいります。

さらに、本県の将来の飛躍・発展に向けた取り組みや、誰一人取り残さない社会づくりの推進を通じて、県民一人ひとりが豊かさを実感できる「幸福度日本一の石川県」の実現を目指してまいります。

雇用情勢は持ち直しの動きが広がり、中には人手不足の業種もある中、県内企業の人材確保を支援するため、オンラインを活用した就職促進イベントや合同企業説明会を開催しました。今後ともILACによるUターンや学生の県内就職、女性・高齢者の就業促進などの取り組みを進めてまいります。

このような中、高齢者の方々が、その能力を十分に活かし活躍する機会を確保することは、地域社会の活力を維持するために重要であり、多様な就業機会を提供するシルバー人材センターの役割は一層重要なものとなっています。

県としても、シルバー人材センターの取り組みを引き続き支援してまいります。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



石川労働局長
長嶋 政弘

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、石川労働局の行政運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、最近の景況については、ウィズコロナの下、基調としては緩やかに持ち直しているとされております。

また、本県の雇用情勢についても、製造業を中心に多くの産業から前年同月を上回る求人提出があり、求人が求職を上回る状況が続いていることなどにより、令和4年10月の有効求人倍率は1.66倍となり、持ち直していると判断しております。

こうした中、わが国の少子高齢化は急速に進展しており、活力ある地域社会を維持していくためには、働く意欲のある高齢者がその能力を発揮できるよう、活躍の場を維持・確保していくことがこれまで以上に求められているところ です。

このようなことから、シルバー人材センターには、その果たす役割の重要性と地域社会の期待は一層大きなものとなっており、地域における高齢者の就業の受け皿としての役割のみならず、生きがいやコミュニケーションの場として、地域社会の活性化にも貢献することが求められています。

石川労働局におきましても、年齢に関わりなくいきいきと働ける「生涯現役社会」の構築に向け、貴会との連携を密にするとともに、70歳までの就業機会の確保に向け、令和3年4月から施行された改正高齢者雇用安定法の趣旨や内容の周知・啓発、定年延長や継続雇用の導入等にかかる雇用環境の整備に関する相談・援助等の実施に努めてまいります。

末筆ではございますが、貴会及び会員の皆様の益々のご健勝とより一層のご繁栄を心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

令和4年度の主要事業 (令和4年8月～12月実施分)

労働者派遣業務担当者会議

● 8月23日(火)〈石川県女性センター〉



石川県警察本部交通企画課
安全兼交通事故抑止対策係長
榎本 高裕 氏



石川労働局職業安定部
需給調整事業室長
竹腰 弘毅 氏

県内18センターの派遣業務担当者と連合会職員合わせて26名が参加し開催されました。はじめに、石川県警察本部交通企画課の榎本高裕安全兼交通事故抑止対策係長に「運転前後のアルコールチェックの義務化等」について、続いて石川労働局職業安定部の竹腰弘毅需給調整事業室長に「労働者派遣事業の適正運営」について説明をいただきました。

その後、連合会事務局から業務運営に係る説明を行った後、出席者全員による意見交換が行われました。

石川労働局等への要請

● 8月24日(水)・9月12日(月)・10月3日(月)

令和4年度全国シルバー人材センター事業協会総会の決議事項に基づき、8月24日、シルバー人材センター活動への支援要請及び消費税インボイス制度導入にかかる特例実現への協力要請を行いました。林充男会長、竹田由喜夫、藤勝好の両副会長、増田勉事務局長ほか、石川労働局、自由民主党石川県支部連合会、石川県町長会を訪問し、また、9月12日には石川県市長会、10月3日には石川県庁を訪問しました。訪問先の皆様にご対応いただき、支援要請文の手渡しと、意見交換をさせていただきました。



林 充男 会長 長嶋 政弘 局長



林 充男 会長 土岐 祥蔵 商工労働部次長
兼労働企画課長

4 専門委員会

● 8月26日(金)30日(火)〈連合会会議室〉

連合会に設置している4つの専門委員会は、令和4年5月31日をもって全委員が任期満了となったため、新たに委員を選任しました。

各委員会では、就任された委員が紹介され、林会長の挨拶に続き、各委員会の委員長の議事進行により協議が行われました。

【各専門委員会の審議内容】

- (1) 令和3年度事業実施状況について
- (2) 令和4年度事業計画について
- (3) その他
 - ・センターからの検討・要望事項について



【交流研修専門委員会】



【就業開拓推進専門委員会】



【普及啓発推進専門委員会】



【安全適正就業推進専門委員会】

普及啓発促進月間活動

● 10月1日(土)～10月31日(月)



県内のシルバー人材センターでは、10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」の期間中に、清掃、草刈り、剪定等のボランティア活動や周知・広報のチラシ・グッズの街頭等での配布など普及啓発活動を実施しました。

当連合会では、グラウンド・ゴルフ大会を開催したほか、入居ビル屋上から懸垂幕「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間 10月1日～10月31日」を掲示しました。

親睦グラウンド・ゴルフ大会

● 10月13日(木)〈かほく市高松グラウンド・ゴルフ場〉

シルバー人材センター事業を広くお知らせするとともに、シルバー会員の健康増進と親睦をはかることを目的に実施している大会も3年ぶりの開催となりました。

大会当日は、さわやかな秋晴れのもと、県下の各シルバー人材センターから、会員・役職員約160名が集まり、熱戦を繰り広げました。競技終了後、入賞者の皆さんには、林会長から優勝トロフィーと賞品が手渡され、記念撮影をして無事終了しました。



男性の部

優勝：守 恵三男 さん (七尾市SC)
2位：中川 勉 さん (宝達志水町SC)
3位：梶 武夫 さん (珠洲市SC)

女性の部

優勝：平 未知子 さん (能登町SC)
2位：山田 宜子 さん (輪島市SC)
3位：中川八重子 さん (宝達志水町SC)

運転技能講習

● 10月14日(金)～11月16日(水)

労働者派遣事業において、スクールバスや福祉施設の利用者の送迎やクラブ活動の生徒などの人員輸送業務と、給食配送や広報誌などの物品輸送業務に従事している会員を対象に、事故防止対策の一環として、安全運転のスキル向上と安全意識の啓発のため、本講習を実施しています。

10月14日の珠洲市会場を皮切りに、県下11会場で開催され、112名が受講しました。

この講習では、自動車運転技能自動評価システム（オブジェシステム）とドライブレコーダーを搭載した車両（マイクロバス、ワゴン車）を実際に運転し、ドライバーの運転の「クセ」など、運転行動を定量的に測定し、その結果をAからEまでの5段階評価で示します。

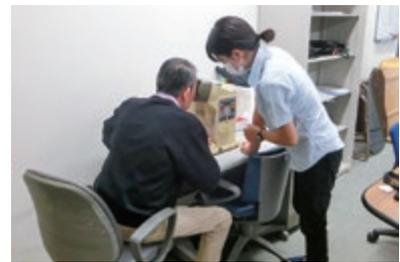
その測定結果をもとに、自動車教習指導員から一人ひとりに診断結果の解説と運転技能の改善について、的確なアドバイスを実施しました。今後の運転業務に大いに活かされる講習となりました。



実地走行により一人ひとりの運転データを収集する
(加賀市シルバー人材センター前)



ドライブレコーダーの動画を見ながら的確な診断とアドバイスを行う
(能美市寺井地区公民館)



視力検査（夜間視力も検査）
(能登町シルバー人材センター)

第2回県内各センター事務局長会議及び安全対策協議会

● 10月21日(金)〈石川県女性センター〉

林充男会長のあいさつの後、連合会事務局から次の項目について説明し、質疑応答を行いました。

第2回事務局長会議

- (1) 全シ協からのシルバー人材センター事業に関する情報提供
- (2) インボイス制度についての情報提供
- (3) その他

第2回安全対策協議会

- 令和4年度事故発生状況について
- 事例検討及び意見交換
「車両の運転業務等における事故対応の課題等について」

事事故事例を提示し、どのような対応を取られるかを発言・意見交換をしていただきました。



安全パトロール

● 10月25日(火)、10月26日(水)

会員の就業現場の安全対応等の状況確認のため、連合会職員、連合会の安全・適正就業推進専門委員会の委員及び巡回先のセンター職員により、津幡町と七尾市の2センターで実施しました。

今年度も剪定及び草刈現場で傷害事故・賠償事故が多く発生していることから、重点的に巡回し、安全防護具の使用状況や三脚をはじめとする器具・道具類が適切に使用されているか等を確認しました。

「芝刈・草刈」10月25日(火)津幡町湖東にて



草刈作業では、付近の車両の移動を徹底し、飛び石事故を未然に防ぐようにしている。

「剪定」10月26日(水)七尾駅前にて



駅前には、人や車の往来も多く、安全対策には一層の注意を払って作業している。

第2回理事会

● 12月9日(金)〈石川県女性センター〉

林充男会長のあいさつの後、次のとおり議案審議・報告等が行われ、議案2件については承認されました。

【審議事項】

- (1) 令和4年度収支補正予算について
- (2) 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について

【報告事項】

- (1) 令和4年度代表理事及び職務執行理事の職務執行状況報告について
- (2) 安全就業対策について
- (3) 国の令和5年度シルバー人材センター関係予算等について
- (4) 令和4年度国委託事業（高齢者活躍人材確保育成事業）について
- (5) その他



理事長会議

● 12月9日(金)〈石川県女性センター〉

林充男会長のあいさつに続き、連合会から、厚生労働省からの情報について説明を行いました。続いて、インボイス制度導入による新たな負担への対応方針について、各センターに事前に照会した回答をまとめた資料により、各センターからの説明と意見交換を行いました。



【内容】

- (1) シルバー人材センター事業にかかる厚生労働省からの情報について
- (2) インボイス制度導入への対応について
- (3) その他

高齢者活躍人材確保育成事業（国の委託事業）

① 高齢者活躍人材確保育成連絡会議を開催

令和4年10月27日（木）、石川県地場産業振興センターにおいて、「高齢者活躍人材確保育成連絡会議」を開催しました。

連絡会議には、以下の機関・団体の方々にご出席いただき、シルバー人材センター事業の課題等について、意見交換を行いました。

（出席いただいた機関・団体）

石川県商工会連合会、石川県中小企業団体中央会、
石川県退職者連合、石川県商工労働部労働企画課、
石川労働局職業安定部職業対策課



② 各種技能講習の実施

シルバー人材センターの登録・就業対象である60歳以上のシルバー未会員の方及び職種転換等を希望するシルバー会員に対し、必要な技能講習を実施し、入会及び就業の促進をはかっています。

技能講習の地域別開催状況

令和4年12月末日現在

	開催地域	開催数(回)	受講者数(人)	主な講習名
石川中央地	金沢市・白山市 野々市市・内灘町 津幡町・かほく市	9	81	剪定、刈払機、筆耕、遺跡発掘 介護のための生活支援 お掃除・整理収納
南加賀地	小松市・加賀市 能美市	5	44	剪定、刈払機、お掃除 お掃除・整理収納、学童保育補助
能登中部地	七尾市・羽咋市 志賀町・中能登町 宝達志水町	3	29	刈払機、剪定
能登北部地	輪島市・珠洲市 能登町・穴水町	3	28	刈払機、調理補助、お掃除
合計		20	182	



金沢市
「遺跡発掘」



能登町
「調理補助」



津幡町
「剪定」

③ シルバー人材センターの周知・広報の実施

シルバー人材センターの所在市町の自治体広報誌でのシルバーの広告掲載、連合会のホームページなどを通じ、シルバー人材センターの周知・広報を実施しているほか、ポスターの掲示、総合パンフレットや紹介チラシの配布及び公共施設等での配置などを行っています。



自治体広報誌掲載広告

④ 就業体験の実施

就業体験は、シルバー会員でない方やシルバー会員で職種転換を希望する方に対し、就業中のシルバー会員、企業等の協力を得て、実際の作業等についての体験や職場見学を実施するものです。

令和4年10月末現在で、39人（未会員30人、職種転換希望等の会員9人）の方について、剪定、清掃、球根植付け作業、施設管理等の就業体験を実施しました。このうち、未会員の体験者28人が新規入会しました。



【宝達志水町：エアリーフローラ植付作業】

センター支援事業（連合会の独自事業）

各センターの要望により、会員のスキルアップ（資格取得を含む。）や就業中の事故防止対策、そして、シルバー受託事業の主力となる業務の技術向上を図るため、技能講習（センター支援講習）を実施しています。

※今年度も昨年度同様に、新型コロナウイルス感染症対策のため、1回あたりの受講人数を縮小して実施しています。

センター支援講習開催状況

令和4年12月末日現在

講習名	開催回数	受講定員総数
刈払機取扱作業安全衛生教育	6回	66名
剪定講習	8回	90名
清掃講習	5回	50名
接遇講習	1回	20名
計	20回	226名



接遇講習の様子
（白山市シルバー人材センター）

衛生委員会 掲示板

牛乳について その3

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会 産業医 井上 一彦



皆様 御変わりなく御元気で御活躍のことと存じます。

前回は乳糖不耐症について書きました。

乳糖不耐症でも症状が起こり難い乳製品としてヨーグルト、チーズ、バターが挙げられます。ヨーグルトの乳糖含量は牛乳と同程度ですが、発酵させる為に加えられた乳酸菌がラクターゼを放出し、胃酸により乳酸菌が死滅しても残ったラクターゼが乳糖の3分の2以上を分解します。チーズは製造時に水分と乳糖が除かれるので、乳糖含量が減少（種類によりますが牛乳の3分の1から5分の1）しています。バターは牛乳の脂肪成分から作られるので乳糖をほとんど含んでいません。カルシウム含有量は、ヨーグルトでは牛乳とほぼ同じ100g中120mg、チーズでは100g中660mg(水分が除かれているので)、バターでは100g中15mg。また蛋白含有量は、ヨーグルトでは牛乳とほぼ同じ100g中3.6g、チーズでは100g中23g、バターでは100g中0.6gです。ちなみに、牛、豚肉の蛋白含有量は100g中約20gなので、チーズの蛋白源としての有用性が際立っています。

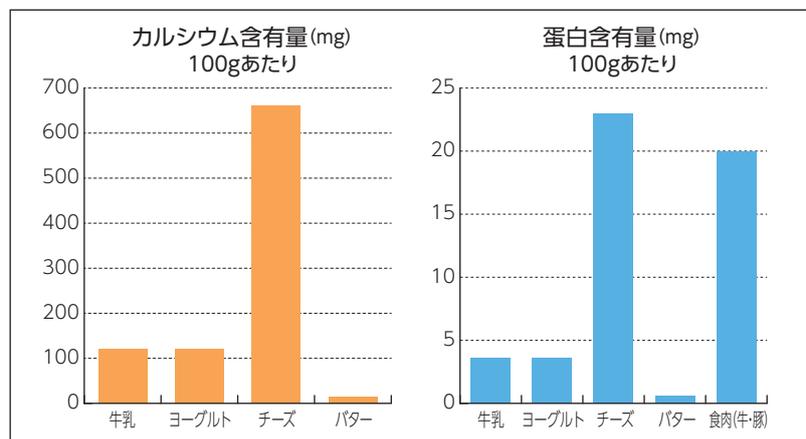
水分が除かれていることは保存にも有利で、ヨーグルトの保存期間は未開封で1週間くらいですが、チーズには1ヵ月というものもあり、熟成期間の長い中世以来の製法を採っているものでは搾乳の30年後でも食べられるという驚くべき保存性の高さを示すものがあります。

第47号で、各地の遺跡でチーズ利用の痕跡が認められると書きましたが、2012年に発表された論文にポーランドから出土した約7500年前の土器のことが書かれていました。乳脂肪化石の附着状況から、山羊乳に酵素（キモシン）が作用してできた蛋白と脂肪を多く含む凝固物（チーズの原料、カードと呼ばれます）を水分（乳清、ホエイと呼ばれます）から分離する際に用いた器と推測されるそうです。キモシンは、仔牛や仔山羊の胃で作られるレンネットという酵素の主成分です。レンネットには植物性のものもあり、1960年代には^{かび}黴類から作られる様になりましたが、動物由来のレンネットを用いたチーズ作りには中東の面白い^{きびんたん}起源譚があります。家畜の胃で作った袋に畜乳を入れて隊商に出たら、知らぬ間にチーズが出来たというものです。

カルシウム源、蛋白源として優れており、風味の好みはともかく、食べ易いチーズなのですが、銘記すべきは塩分含有量が高いことです。味に癖が無く値段も手頃なプロセスチーズ（熟成が続いているゴーダやチェダーを混ぜて加熱、乳化し殺菌、包装したもの）の塩分含有量は100g中2.8gです。

仮に1日の必要蛋白量（男性60～65g、女性50g）を全てチーズから摂取すると、チーズの塩分だけで厚労省「日本人の食事摂取基準」の目標量上限（男性7.5g、女性6.5g）に達してしまいます。因みに牛、豚肉の塩分含有量は100g中0.1gです。

今回もお読み頂きまして誠に有難うございました。



県内の各シルバー人材センターの活動

県内各地域18のシルバー人材センターの様々な活動を紹介します。

① 公益社団法人珠洲市シルバー人材センター

★グラウンドゴルフ大会

9月21日(水)に、恒例のグラウンドゴルフ大会を開催しました。秋晴れの下、事務局職員も参加し一緒に良い汗を流して楽しい時間を過ごしました。



★普及啓発活動の実施

10月15日(土)のシルバーの日に、公共施設・宿泊施設の3か所と、市内(大谷地区)で、会員による除草や清掃、空き缶拾いなどを行い、10月31日(月)には、珠洲市役所前の剪定・雪吊りの奉仕活動を行いました。

② 公益社団法人輪島市シルバー人材センター



★白米千枚田の奉仕活動

当センターでは、「世界農業遺産 能登の里山里海」を代表する白米町にある棚田「白米千枚田」の保全活動に参加しています。1,004枚の棚田の景色は、「日本の棚田百選」や、「国指定文化財名勝」に指定されており、千枚田の田植え準備から稲刈りまでの作業に会員が参加しています。

また、収穫後の田で行う千枚田のイルミネーション「あぜのきらめき」で設置する25,000個のソーラーLEDは、会員が点検準備をしました。

当センターでは、私たちの地域にあった社会参加で生きがいの充実、地域の活性化に取り組んでいます。

③ 公益社団法人能登町シルバー人材センター

★空き家の不用品処分

当センターは、能登町定住促進協議会と連携し、空き家及び耕作放棄地の管理事業を推進しております。近年、一軒家の中を丸ごと空にする処分のご依頼が多く、家具や仏壇などの粗大ゴミから細かい廃棄物までを分別し、処分場へ運搬しています。処分後には家屋内のクリーニングも行っており、これから空き家を賃貸に出される方などに大変需要があります。



★普及啓発活動 街頭ポケットティッシュ配布

毎年10月に町内街頭やイベント会場において、役職員によるチラシ及びポケットティッシュの配布を行っています。今年度もシルバー事業の意義や活動内容を町民の方々に周知するため、ホームセンター前にて来店客一人ひとりに声掛けをし、受注増のみならず会員拡大を目指してチラシやポケットティッシュを配布しました。

④ 公益社団法人穴水町シルバー人材センター

★剪定技能講習会

剪定作業員の後継者育成のため、10月18日(火)～20日(木)の3日間、剪定技能講習を開催し、今年は雪吊りも実施しました。皆さん講師の先生の話に真剣に耳を傾け、今後就業につなげていけるよう真剣に取り組んでいました。



★町内の学校消毒作業

—昨年から、町内の小中学校において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、児童、生徒の触れるところを中心に徹底した消毒作業を5名体制で行っております。子供たちの安全を確保するため、日々作業に取り組んでいます。



⑤ 公益社団法人志賀町シルバー人材センター

★普及啓発促進月間

10月13日(木)、かほく市で連合会主催グラウンドゴルフ大会が行われ、会員5名、職員1名が参加いたしました。10月15日(土)シルバーの日を中心に、指定管理施設とぎ地域福祉センター(とぎ温泉ますほの湯)において、職員4名、会員10名が来館者に普及啓発用ポケットティッシュの配布を行いました。

10月19日(水)には、清掃講習(支援講習)が行われ、会員10名、職員3名が屋内清掃作業の知識技術の習得に励みました。10月は会員参加型行事が多くあり、会員相互の親睦が深まり、センターのPRにつながったのではないかと思います。今後も、様々な活動を通じてシルバーの輪を広げていきたいです。



⑥ 公益社団法人七尾市シルバー人材センター

★毎年2回のビッグイベント "ふれあいの集い"

毎月第二日曜日に開催しているふれあい市ですが、年に2回、3月と10月第二土曜日は、一回り大きくなった“ふれあいの集い”が開催されます。10月に開催された“ふれあいの集い”は、ラジオパーソナリティの丸一都美さんに司会進行をしていただき、多数のショーイベントがなされました。センターエントランスには、会員限定抽選会場が設けられ、沢山の豪華景品が並びました。抽選の順番を待つ会員さんが列になり、景品を受け取り大変喜ばれていました。

会員さんに喜んでいただけるイベント&サプライズを今後も沢山企画していきます！

★サークル "虹の会" が手掛ける "こだわり味噌"

七尾市シルバー人材センターのサークルは、現在10団体活動しています。



どのサークルもとても精力的かつ楽しまれて活動をされています。中でも元気なマダムたちが集まった“虹の会”の皆様は、いつもニコニコ一生懸命、そしてチャレンジ精神を持って過ごしていらっしゃいます！

マダムたちが手掛ける“こだわり味噌”は、一度食すとやみつきな味噌！それはそれは美味しい味噌です。1年で最も寒い大寒に仕込みをし、8月お盆過ぎに新しい味噌の販売がはじまります。

美味しくって評判のこのお味噌！毎年春先には売り切れてしまいます。チャンスがあれば皆さんも一度ご賞味あれ♪



⑦ 公益社団法人中能登町シルバー人材センター

★シルバーのお仕事説明会

9月21日(水)、シルバー会員拡大を目的に、シルバー人材センターの職域紹介や入会方法をマンツーマンで説明後、本人の希望職域をお聞きし、現在就業の会員さんが仕事内容を詳細に説明しました。参加者には、粗品のプレゼントや、気軽に談話できるようコーヒータイムを設け、実績は8名の方が参加し、4名の方が入会され、各就業に就きました。



★就業開拓・普及啓発活動の実施

10月23日(日)なかのと地域イベントの一環で、「おにぎりTHEフェス」の企業PRブースにおいてセンターをPRしました。シルバーのお仕事を周知してもらうため職域紹介の特大パネルを設置し、来場された方々に、ポケットティッシュを配布しました。企業PRブースに来場された方は数十名でしたが、シルバー会員拡大に大きくつながっています。

⑧ 公益社団法人羽咋市シルバー人材センター

★ボランティア美化活動

10月7日(金)、普及啓発促進月間の活動として、ボランティア除草作業を実施しました。昨年に引き続き「道の駅のと千里浜」の敷地内を除草しました。雨が降る中での作業となりましたが、会員・職員合わせて41名が参加し、早朝から汗を流しました。



★自然栽培米事業(独自事業)

羽咋市の特産品であり、安心・安全の無肥料・無農薬で栽培する自然栽培米。当センターでは栽培に取り組んで今年で7年目となります。

規模は小さいながらも、毎年わずかですが、収益を上げています。薬剤は一切使用しないため、除草はすべて手作業で、大変手間がかかります。

5月末に田植えをし、暑い夏を乗り越え、すくすくと育ったお米を9月下旬に稲刈し、今年も無事収穫を終えました。

⑨ 公益社団法人宝達志水町シルバー人材センター

★エアリーフローラ(石川県オリジナルフリージア品種)栽培

昨年に続き今年も栽培を開始しました。エアリーフローラの品評会では、2年連続で優秀賞を受賞しており、市場でも生産者名だけで取引されるまでとなりました。栽培会員も21名に、栽培品種も9種類に増え、ますます活気づいています。出荷に向け愛情いっぱい育てています。



★ボランティア活動

10月20日(木)、普及啓発促進月間に合わせ、「特別養護老人



ホームちどり園」の敷地内及び隣接する公園の剪定・除草作業を、会員23名で行いました。毎年「きれいになった」と喜ばれています。

★教養教室の開催

今年はお正月飾りの「蓬莱(切り絵)教室」を開催しました。おめでたいといわれている七福神や干支などの切り絵に挑戦。どの作品も素敵なものに仕上がりました。これで新しい年も迎えられますね。

⑩ 公益社団法人かほく市シルバー人材センター

★独自事業 ぶどうや野菜の栽培事業

当センターでは、平成30年度に実施した人材育成講習会「営農アシスタント講習」の経験を生かし、翌年から独自事業としてぶどうや野菜の栽培を開始し、現在に至っております。約1,200㎡のぶどう畑と、400㎡と800㎡の野菜畑二か所で、就業実人員約40名が野菜作りに励んでおり、収穫した野菜類は、毎月の会員便りに掲載して販売しています。



★ボランティア清掃

11月10日(木)、かほく市七塚中央公園で会員23名と役職員が参加して、主に落ち葉などを拾う清掃作業を実施しました。当日は天候にも恵まれ、竹ぼうきやブロワー、熊手、てみを使って作業を進め軽トラック10台分の落ち葉を収集して園内の美化に汗を流しました。

⑪ 公益社団法人津幡町シルバー人材センター

★剪定講習会

新規会員の獲得と既存会員の業種転換を促すため、石川県シルバー人材センター連合会が主催する剪定講習会が開催されました。(10月18日・19日・21日の3日間) 会員6名と未会員3名が参加して剪定技能の基本や実技を学びました。

参加者は、講師による実践的な指導に触れたことで興味をもち、今後の就業につながることとなりそうです。



★交通安全講習会

11月11日(金)に、「高齢者交通安全講習会」が開催され会員36名が受講しました。

津幡警察署 横山交通課長の交差点や駐車場で発生した事故例の説明を聞き、交通安全を再認識したあと、交通安全機材でランダムに2つの光るボタンを押すゲーム感覚で俊敏性を測定する体験もしました。参加者全員に交通安全協会から夜光反射材が贈られました。

⑫ 公益社団法人内灘町シルバー人材センター

★ボランティア活動の実施

10月26日(水)に、内灘町役場周辺にてシルバー会員40名と職員が参加し、除草ボランティアを実施しました。例年よりたくさんの会員の参加があり、青空の下、会員同士協力をしながら作業をすることができました。久しぶりに会う会員同士の喜ぶ姿がとても印象的でした。



★スマートフォン・携帯電話の個別講習会の実施

今年度より、1月から2月にかけて、週2回の会員向けの個別講習会を行いました。事前に全会員に使用状況のアンケートを実施し、希望者のみの参加でしたが、たくさんの申込みがありました。

来年度も実施予定であり、会員の皆様に様々な情報を提供できるようにしたいと思っています。

⑬ 公益社団法人金沢市シルバー人材センター

★ボランティア清掃活動

10月の「普及啓発促進月間」において、ボランティア清掃活動を実施し、市内11の地区で190名の会員が参加しました。新型コロナウイルスにより、ここ2年間中止としていたため、3年ぶりの開催となりました。

10月は、金沢マラソンが行われることもあり、多くの人々が市内を訪れます。シルバー事業を通じ、市内全域の美化に少しでも貢献できればと考え、今後も継続していきたい活動の一つです。



★冬休み書き初め教室

毎年12月の下旬に、地域社会との交流や会員拡大などを目的に「冬休み書き初め教室」を開催しています。対象は小学校3年生から6年生までで、センターの筆耕業務に従事する会員が講師をします。毎年反響も大きく、人気の教室となっています。参加した子供たちは、お手本を見ながら一生懸命筆を進め、時折講師からのアドバイスにうんうんと頷いていました。その姿を見た保護者からは、ほほ笑む様子もみられました。

⑭ 公益社団法人野々市市シルバー人材センター

★設立30周年記念 グラウンドゴルフ大会

11月5日(土)、設立30周年記念グラウンドゴルフ大会を開催しました。女性会員や初心者の参加も多く、総勢32名が明るく楽しい雰囲気の中でプレーしました。「競うより楽しむ」を実現することができ、会員間の交流も深まりました。



★ちよっこしマーケット秋の大根市&ワークショップ

11月11日(金)、ちよっこしマーケット 秋の大根市を開催しました。野菜班のこだわり無農薬大根150本をメインに、その他ねぎや春菊などの野菜も“ちよっこし”ですが、販売したところ、開始30分で完売となりました。また、同時開催したワークショップも満席で、会員だけでなく一般市民からも5名の参加があり、センターのPRができました。



⑮ 公益社団法人白山市シルバー人材センター

★あさがおテレビでPR

シルバー人材センター普及啓発促進月間にあわせて、職員が地元のケーブルテレビに出演し、シルバー人材センター会員募集の告知を行いました。

また、シルバー人材センター事業の説明や会員のお仕事紹介、入会への手続き等について説明しました。



★白山市福祉健康まつりに出展

9月25日(日)、3年ぶりに開催された白山市福祉健康まつりにシルバー人材センターが出展しました。会員募集、仕事募集に加え、普及啓発物品(ポケットティッシュ、チラシ等)を入れた会員手作りの新聞紙のエコバッグが好評でした。

また、会員の活動写真(就業、ボランティア)、ゆび編み(アクリルエコたわし)で作った作品を展示しました。

⑩ 公益社団法人能美市シルバー人材センター

★ボランティア活動（門松制作・設置）

当センターでは、伝統のモノづくりを次世代に残すことを目的に、市内公共施設7か所の玄関に門松設置を行っています。



竹や松、笹や葉物などの資材の調達から、そぎと呼ばれる竹の先端を斜めに切り、断面が笑っているような竹の加工・磨きや袴づくりの準備を経て、年末に設置を行います。

特に成人式が開催される根上総合文化会館では、年明け後も笹や葉物の差し替えを行い、来場者を迎えるにふさわしい姿を見てもらうように配慮しています。

このボランティア活動に参加している有志は日頃、剪定や草刈作業に従事している会員が多く、市内各所で門松の材料となる草木の在処を把握し所有者に協力戴くなど、高いコミュニケーション能力も発揮しています。



⑪ 公益社団法人小松市シルバー人材センター

★熱中症対策セミナー

就業時の熱中症を予防するため、7月5日(火)と7日(木)の2日間、会員35人が「シニアのための熱中症対策」と題し、小松市と包括連携協定を締結している大塚製薬株式会社と北陸体力科学研究所・研究顧問で医学博士でもある平下政美氏を講師に迎え、熱中症の医学的なメカニズムや対策について講義を受けました。



★会員互助会より小松市へ災害義援金を贈呈

8月4日(木)に発生した豪雨により被災された方々への支援と被災地域の復興に役立てて頂くため、9月8日(木)に市役所において義援金を贈呈しました。



★農園会員と園児が収穫体験

10月19日(水)に、地元の中海こども園の年長園児14人が、当センターのスマイルシニア農園を訪れ、会員が育てたサツマイモ「紅はるか」の収穫を体験しました。

⑫ 公益社団法人加賀市シルバー人材センター

★会員交流懇談会

コロナ禍で、シルバーの催しが、総会、40周年記念事業などほとんど会員が顔を合わすことなく終了したことで、「集まる機会が少ない、ぜひ会員の交流を図ることを考えてほしい」という声が多量に届きました。センター会員としての意識高揚及び結束力を高めるには、コミュニケーションが不可欠なことから、3会場において会員交流会を実施しました。加賀市生涯学習講座「かもまる講座」をプログラムに入れ、「エンディングノート」ならぬ『スターティングノート』を書くことで、これからの自分の人生をより豊かに過ごすことを学んだり、「人生100年時代に備える!!KAGA健食健歩プロジェクト」と題し、「食」と「運動」を通して介護予防に取り組む話や体操で体をほぐした後、ニュースポーツ「ペタンク」を初体験するなど有意義な交流会となりました。





羽咋市シルバー人材センター(P12 自然栽培米事業)



七尾市シルバー人材センター(P11 虹の会)



小松市シルバー人材センター(P15 収穫体験)



かほく市シルバー人材センター
(P13 ぶどうや野菜の栽培事業)



珠州市シルバー人材センター
(P10 剪定・雪吊りの奉仕活動)

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会

〒920-0862 金沢市芳齊1丁目15-15 TEL(076)222-4680 FAX(076)222-4681

ホームページ: <https://ishikawa-silver.com>

「シルバー連合会いしかわ」は、石川県シルバー人材センター連合会のホームページからもご覧いただけます。

